

# EA11R カプチーノ エンジントルクダンパー

## 取扱説明書

取付け作業前に必ずお読みください

■本製品は、以下に表示する車両に適合します。

車名	型式
スズキ・カプチーノ	EA11R

2010年12月27日初版

### ■はじめにお読みください

この度は本製品をお買い求め戴き誠にありがとうございます。  
本製品の機能を発揮し、かつ安全に使用していただくために本書をお読みください。

### ■安全上の注意

本書には本製品の機能を十分に発揮するとともに、あなたや他の人々、車両等への危険や損害を未然に防止するための注意事項を示しています。

本製品は、ノーマルの車両を基準に開発、設計を行なっています。ノーマルから著しい変更を受けた車両に関しては本製品の機能及び性能、安全性について保証致しかねます。

本書に記載されている事項を守らなかった場合、死亡や怪我の人身事故・製品や車両その他の物損事故には一切の責任を負いかねます。その場合製品や車両その他の物品や作業工賃等の金銭的保証並びに時間的・精神的損失についても一切負担致しません。予めご了承いただきますようお願いいたします。

本書では安全に使用していただける様に下記の記号を使用し作業や使用時の危険レベルを表示しています。必ず指示に従っていただきますようお願いいたします。



**警告**

作業員または使用者が、死亡または重傷を負うまたは重大な物的損傷につながる危険が切迫して生ずることがある場合に表示。



**注意**

作業員または使用者が、傷害を負う危険を想定される場合。  
また本製品が原因で誘発された物的損害の発生が想定される場合に表示。

本製品に関するお問い合わせ、紛失、補修部品の購入、オーバーホール等のご依頼はお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

製造者 株式会社セクション

奈良県磯城郡田原本町味間309-1

## ■使用される前に

本製品を正しくお取り扱いいただくため、下記の注意事項を厳守して下さい。

## ■構造上/作業上の注意事項



**警告**

■本製品の装着の作業前にバッテリーのターミナルを取り外しておいて下さい。また、エンジンや補機類が身体に触れても火傷しない温度まで低下していることを確認の上作業して下さい。最悪の場合、短絡による車両火災や重度の火傷を負う場合があります。



**注意**

■本製品の取付は必ず専門業者に依頼し、自動車メーカー発行の整備要領書や修理書と本説明書を参照して下さい。



**警告**

■本製品に対し切削や溶接など加工及び改造は絶対に行わないで下さい。



**注意**

■各部のボルト、ナットはメーカー発行の整備要領書などを参照し規定トルクに従って締付けして下さい。規定トルクに従わない場合ボルト、ナットの破損や部品の脱落等の原因となります。



**注意**

■本製品の取り付けにあたり、車体側のボルト穴の拡大作業が必要です。拡大作業無しで本製品を取り付けた場合、正常に機能しません。

## ■維持・管理



**注意**

■日常点検はドライバーの責任です。必ず実施して下さい。



**注意**

■本製品取付後は操縦安定性等が変化しています。操作フィーリングに慣れるまで速度を抑えて走行して下さい。



**注意**

■走行中に異音、異臭、振動等異常を感じた場合は、運転を中止し専門業者に症状を告げ点検、必要であれば修理を依頼して下さい。



**注意**

■故障の修理はお客様自身ではなさらず、必ず専門業者に依頼して下さい。

## ■譲渡の際には

本製品を第三者に譲られるときは本取り扱い説明書を一緒にお渡し下さい。

## ■廃棄する場合は

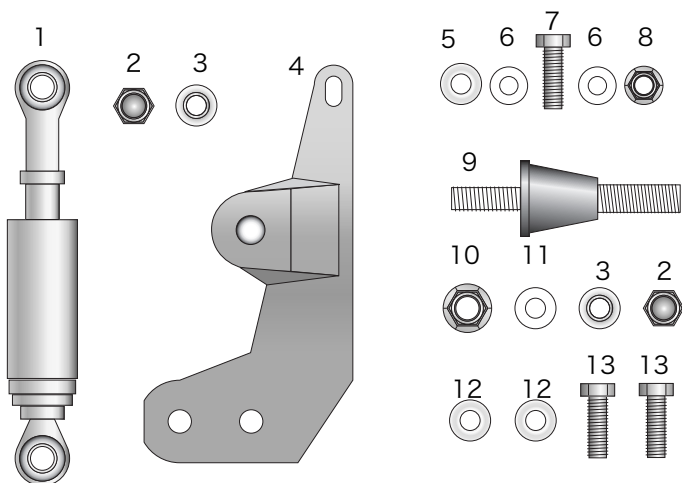


**注意**

■廃棄する場合はお買い上げの販売店もしくは専門業者に依頼して下さい。

# エンジントルクダンパー取り付け1

## 構成部品



## 構成部品

- 1.ダンパー本体
2. M10袋ナット X 2
3. t=10mmカラー X 2
- 4.ボディ側ステア X 1
5. M6カラー h=15 X 1
6. M6ワッシャ X 2
7. M6ボルト L=35 X 1
8. M6ナット X 1
9. エンジン側取り付けポスト X 1
10. M8ナット X 1
11. M8ワッシャ X 1
12. M8カラー h=16 X 2
13. M8ボルト L=45

## ダンパーステア（エンジン側）取付け



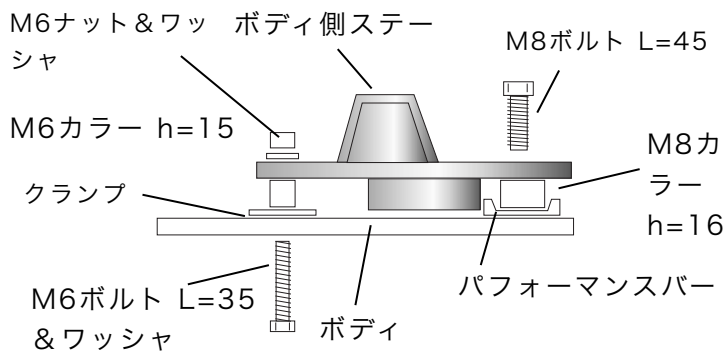
車両前方からエンジン側取り付けポストをオルタネーターステアのボルトスライド穴に通しM8ワッシャ、M8ナットで固定します。  
 ※スライド穴の最もシリンダブロック側で固定して下さい。  
 ※オルタネーター後方に各端子や、オイルプレッシャの配線などがあります。狭いスペースですので破損させないように注意して作業して下さい。

## エンジントルクダンパー取り付け2

### ボディ側ステー取り付け



パフォーマンスバー取り付けボルト



左図の○で囲んだクラッチリリースケーブルを固定しているクランプを止めているタッピングビスを外しビス穴を6.5φに拡大します。

※直下にラジエーターホースが配置されていますので破損させないように注意して下さい。

パフォーマンスバーの取り付けボルトを取り外します。

左図の順番でボディ側ステーを取り付けます。

※ワイヤハーネスをパフォーマンスバー後方でボディ側ステーの下側のスペースに入る様に取り付けます。

※M6ボルト側から取り付けると比較的スムーズに取り付けることができます。スペースが狭いのでワイヤハーネス等の破損には注意して下さい。

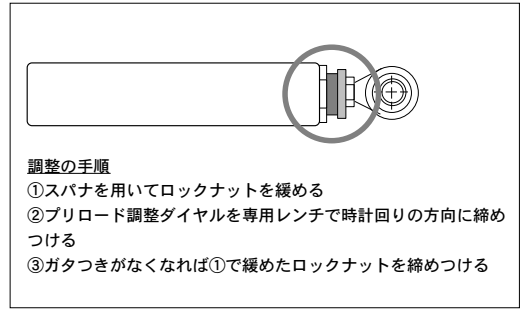
t=10mmカラーをボディ側ステーおよびエンジン側ポストに取り付けダンパー本体、M10袋ナットを取り付けます。

※クラッチケーブルのクランプやオイルプレッシャーの配線などを復元します。

## - プリロード調整について -

本品は内部構造上、一定の期間で内蔵スプリングの復元率が低下し、クリアランス発生の可能性があります。この際に必要となるのが、プリロード調整ダイヤルによるのプリロード調整です。

- 1.上記パーツ構成図中の【ロックナット】を緩めてから、【プリロード調整ダイヤル】を専用レンチを用いて時計回りの方向に締めつけます。
- 2.手で軽く締めつけ、ガタつきがなくなれば【ロックナット】を締めつけて【プリロード調整ダイヤル】を固定します。



## - セルフロックナットについて -

本品は、振動によるネジの緩み防止の為にセルフロックナットを使用しています。ボルトにナットを通す際に、硬くなる箇所がありますが、工具を使用して締め込んで頂くことによりセルフロック機能が働きます。